

# 「とちぎの子ども育成憲章」の実践

活動名	中学生と匂い袋作り		
年月日	5月～6月	場所	市内各中学校
参加者	足利市更生保護女性会員、市内各中学校の生徒		

## 関連する憲章の条文

- 一. 子どもたちとのかかりを深め 思いやりの心を育みます
- 一. 子どもたちとともに 学び 喜び 励ましあい 社会の一員としての自覚を育てます

## 足利市更生保護女性会



更生保護女性会は、「女性」としての立場から、犯罪や非行のない地域社会づくりを目指して活動している全国規模のボランティア団体です。足利市更生保護女性会は、今年で50周年を迎えます。現在の会員は140余人、自主的、自発的活動を通して幅広い貢献活動に取り組んでいます。会の主な活動は、社会を明るくする運動への協力や更生保護施設への支援、ミニ集会、入学児童をもつ家庭への啓発、学校ボランティア、愛の募金活動、保護司会活動への協力などいろいろありますが、絶えず地域の独自性を考え、「何をすべきか」「何ができるか」を自ら問いつつ活動しています。

## 匂い袋作り

学校ボランティア活動の一つに、中学生との匂い袋作りがあります。15年前から始めた活動で、5月から6月にかけて市内の中学校で生徒と一緒に作ります。

匂い袋は、小さい布袋にラベンダーを入れ、口のところにひだ3本をよせて糸の紐で結んで出来上がります。ラベンダーの詰め込み加減や紐の結び方など、生徒たちは慣れない手つきで四苦八苦しながらも一生懸命がんばって作ります。

生徒たちは作りながら、部活動のことや家族の様子、他愛もないことなどを楽しく明るく素直に話をしてくれます。楽しい会話に私たちの気持ちは若返り、元気をもらっています。この頃、悪い報道ばかりが多く耳に入ってきますが、そんな子どもばかりではないと実感したひと時でもあります。

会話の中で、「小学校1年生のときもらったよ。」という声が聞こえてきました。小さい時にももらった記憶を持ちながら今度小学校1年生のために匂い袋作りに参加していることに、感慨深いものがありました。

作った匂い袋は、メッセージと一緒に小学校1年生や社会を明るくする運動への参加者など多方面に配付しています。



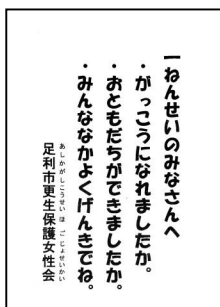
中学生とともに作っている様子



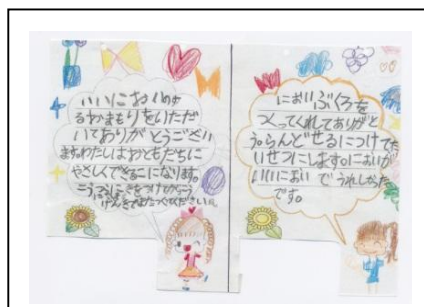
中学生とともに作っている様子



匂い袋とメッセージ



1年生へのメッセージ



お礼の手紙